Domingo 26 de Marzo de 1944
EL "ARGENTIN DJIJO"
NOTICIARIO ARGENTINO
Año XXI No. 2040

亞爾然丁時報

CORREO ARGENTINO CASA CENTRAL
FRANQUEO PAGADO CONCESION No. 953
TARIFA REDUCIDA CONCESION No. 715

發所行亞爾然丁時報社
ブエノス・アイレス市
ウスパリアタ街九八一
電話（二三）七〇五一
購讀料月額二磅五十仙

Director:
T. MIDZUNO
REDACCION:
Uspallata 981
U. T. 23, 7051

緬印國境突破の我軍猛進續行

敵第二十師主力の殲滅戰展開

【ビルマ前線基地廿五日】怒濤の如く緬印國境を突破したわが軍のカバウ溪谷英印軍第二十師の包圍殲滅戰は敵主力の一部を既に捕捉殲滅し、さらにわが戰車隊並に重砲兵隊の果敢な肉迫戰となつて敵第二十師のせん滅戰は早くも最高潮に達した、また廿一日から廿二日にかけてウイトツクより突入した國民軍並にわが戰鬪隊はパレル附近において迫擊砲を有する敵約四百と激烈なる戰鬪を交へた後これを完全にせん滅した一方北方から南方に向ひ國境を突破したわが部隊は二十二日午前八時早くもタムム東北方四粁に迫つゐるが、わが機械化部隊はタムム、パレル、インパールを繋ぐ街路に進出して敵第二十師の退路遮斷に成功した、斯くしてわが軍は三方から國境を突破し敵の要衝タムムを包圍したのであるが、南北十二粁に亘るわが軍の包圍せん滅戰は敵を大混亂に陷入れタムムの敵主力は早くも總崩れとなつてゐる

インパールへ僅か廿哩

我軍破竹の進擊に敵大狼狽

また敵側の報道もわが軍の猛進擊振りに全く敵は手の施しやうもない狼狽を示してゐる即ち廿四日のエーピー報道は「日本軍は印度アッサム州要衝インパールに向け進擊中であるがその距離も僅か二十哩に迫つてゐるが、英印軍は抵抗出來ないほど日本の機動部隊の威力は驚異的である」と云つてをり　さらに「チン丘陵より進擊の日本軍のため英印軍の一部隊は空中補給の孤立狀態となりその救出は困難を極めてゐる」と報道してゐるが、要するに敵側もわが軍怒濤の進擊に恐れ脅ひてゐるのである、また二十二日の東南亞細亞反樞軸軍司令部發表は「日本軍は國境を突破して東部印度の要衝を包圍せんとしてゐるが、わが軍は敵の包圍作戰を避けるため前線から退却してゐる」と云つてゐる　また米國々民に與えた影響も大きくニューヨークの各新聞は大々的にわが軍の印度進入を報じこれを重大視してゐる即ち　或る新聞は「マニプール戰線は日本軍が二月に入つて間もなく開始したのであるが、英印軍は虚を突かれ防止することも出來ない有樣となり、徒に傍觀するのみとなつた」とありさらにニューデリーの報道は「敵は印度國民軍と相呼應して三つの地點から國境を突破しインパールに向け進擊してゐるが、インパール陷落は極めて憂慮されてゐる」と云つてゐる

緬印國境方面航空戰熾烈化

陸鷲敵機五十三擊墜破

【ビルマ前線基地廿五日】ビルマ方面帝國陸軍航空部隊は敵の航空進攻が日增に激しくなつて來てゐるのに對しこの進攻を抑えて次の戰果を收めた、即ち去る八日より十七日までの間に敵機合計五十三機を擊墜破した、擊墜三十一機（内不確實五機）炎上十三機、擊破九機、我方損害自爆一機、未歸還一機、大破三機である

ボース總帥祖國解放戰を語る

【ビルマ前線基地廿五日】東條首相の印度國民に對する支援聲明に感謝したスバス・チャンドラ・ボース主班は二十四日次の如く祖國解放の決意を述べてゐる

今や吾々印度國民軍は歷史的第一步を祖國印度に踏入れた、吾々は之によつて祖國解放は必ず成し遂げられる確心を得た、それ故印度進入と〻もにその解放された地域に新なる統治を布くことになつた、それは今までの外國人による統治ではなく印度人によつて統治されるからである、このことは過去の英國と現在の吾々とは天地の差がある、こうした吾々の明なる然も聖なる解放戰によつて全印度國民を救出するのであるが、英國はこれをも「日本軍の印度侵略である」と云ふであらう然し吾々は事實を以て日本の東亞解放を見てゐる、東條閣下は自由印度假政府並に印度國民軍及び印度國民に無限の援助を與えると議會で聲明された、吾々はこの聲明に對し感謝と感激で胸一ぱいである、吾々は日本軍と共に所期の目的を遂行して自由印度の確立に邁進するものであり、而して吾々は心から日本政府と日本國民の精神をよく理解してゐるのであるから印度にある國民並に英印軍の印度兵も双手を擧げて吾々の聖なる解放戰に參加するであらう

OFENSIVA JAPONESA

Salvo circunstancias especiales en las que los hechos por su sola mención adquieren valor extraordinario, los comunicados dados a conocer por los beligerantes, se caracterizan por su parquedad.

De manera pues que lo que en realidad ha sido una batalla sin precedentes, o aquello que ha constituído rudo golpe, se ofrece a nuestra consideración como una acción más, que ocasionó tantas bajas y tal pérdida de material. Pero, en el caso presente, la nota del epígrafe, obedece a razones interesantísimas. Y es que hace mucho tiempo que no se hacía mención a una verdadera ofensiva de los nipones.

Ahora, un comunicado que tiene el sello de urgente, ha sido difundido desde Nueva Delhi al mundo, anunciando que las huestes del Sol Naciente han invadido a la India.

La nota en sí posee valor excepcional y éste aumenta todavía, cuando se reflexiona sobre la oposición sistemática que debe afrontar el gobierno británico de parte del pueblo hindú.

Las noticias primeras que han llegado, dan un informe del cuartel general aliado en el que poco se dice, salvo que los lugares escogidos para la invasión, han sido precisamente aquéllos, por los que se retiraron en su oportunidad, las derrotadas tropas británicas de Birmania.

En cuanto a quienes son los conductores de esta nueva campaña que se inicia, nada se conoce, aunque el primer ministro Tojo advirtió que Chandra Bose marcha hacia su patria para liberarla del yugo británico.

Es de esperar que la lucha será encarnizada y revestirá proporciones colosales. A otro juicio no puede conducirnos el razonamiento, ante la certeza de que los ejércitos oponentes han concentrado cientos de miles de hombres y poderosos equipos bélicos.

No cabe duda, que la preocupación en las esferas aliadas será muy grande. En realidad de verdad, la India, no sólo constituye el asiento de un ejército poderoso que se prepara para lanzar una ofensiva contra el corazón del Japón, sino una prodigiosa fuente de recursos.

En este caso, como en tantos otros de la campaña del Pacífico, las cosas adquieren un valor renovado cuando se les considera desde el doble aspecto de botín del vencedor y de pérdida valiosa para el derrotado.

La conquista de la India, tal vez estuviera encuadrado dentro del plan ambicioso del mariscal Rommel dijo una vez Mr. Churchill. Pero, prosiguió, con la más aplastante derrota han terminado sus sueños utópicos.

Pero, cabría agregar ahora, que los japoneses tal vez, se hallen en condiciones de llegar a la meta codiciada.

Tribunus.

國民日本歷史

高橋俊乘

〔59〕

奈良平安朝の佛敎は貴族的で、現世の苦樂についての祈禱敎であつた。そしてこれは上流階級に限られてゐて、まだ一般民衆はこんな信仰を得てはゐなかつた。然るに院政の頃から僧兵などが跋扈して寺院內部の墮落腐敗を暴露したので從來の佛敎の威信は全くおちた。同時に保元以來戰亂がうち續いて、昨日まで榮えた者も今日は一族皆亡びると云ふ樣な人生の悲慘の極を現はすことが多いので人々は無常をなげき、轉變を恐れ、精神の救濟を求め、そのために新宗敎の出現を望んでゐた鎌倉時代は簡易通俗な時代であるから、この期待に應じて出た佛敎も皆平民的のものであつた。淨土念佛の信仰は平安朝の始めから少しづゝ發達して來たが、遂に高倉天皇の御代に僧源空（法然上人）が淨土宗を獨立さした。この敎では高尙な修行を要しない、唯阿彌陀佛を一向に信じ、南無阿彌陀佛を唱へさへすれば佛の他力本願によつて悟を開きうると云ふのである。この簡易な敎へは殊に下流社會の歡迎するところとなつて、忽ち四方に廣まつた。その弟子の（親鸞）は別に、淨土眞宗（一向宗ともいふ）を開き、尙適切に一步を進めて純他力敎を說いた。その後九十一代後宇多天皇の御代に、僧一遍が淨土宗から出て時宗を開き諸國を行脚してその宗旨をひろめた。世に遊行上人といはれてゐる。禪宗は直指人心、見性成佛などと言ひ、直に悟を心に求める宗旨であつた。後鳥羽天皇の頃僧榮西が宋に渡つて禪宗の一派の臨濟宗を傳へ、ついでその弟子の道元も宋に入つて、他の一派の曹洞宗を傳へた。直接簡明な精神修養を主としたのであつたから武士の間に行はれて、時賴時宗などの北條氏代々の執權も多くこれに歸依した。鎌倉の建長寺は時賴の建立、圓覺寺は時宗の建立である。第八十八代後深草天皇の御代に僧日蓮が天台宗から出て、新日蓮宗（法華宗とも）を唱へ南無妙法蓮華經のお題目を唱へて悟を開きうるとを說き盛に他宗を攻擊した。夫が爲ほかの宗派の反對をうけて二度迄も流されたが、後に甲斐の身延山を開いて本山とした。

鶯や山を出づれば誕生寺　正岡子規

初雪に門設けたり知恩院　田川移竹

誕生寺は日蓮の誕生地安房國小湊にあり、知恩院は淨土宗の本山で京都にある。

かくて一般の厭世思想の流行と新佛敎の興隆とは、ます〱信仰心を普及して、思想界も文學界も著しく佛敎の色彩をおびた。鎌倉時代の文學の特色は佛敎と戰爭とを主題としたことである。當時和歌は頗る盛んで、殊に後鳥羽天皇が御熱心であらせられたから斯道の名手が多く出た。藤原俊成、その子定家、僧西行、藤原家隆、源實朝等は最も名高い歌人である。俊成は歌をよむ時は常に古い淨衣を着て端坐し、桐火桶を抱きながら心靜かに詠んだので、その歌は何となく上品であつた。世に桐火桶の體といつた。

夕されば野邊の秋風身に
しみて
うづら鳴くなり深草の里

定家はまたわが家で歌を詠む時は必ず、南面の障子を開かせて、遠く外を望み、衣を整へ正しく坐して詠んだ。それは常に心を清くして詠むくせを附けないと、高貴の御前にて詠む時に心が臆して詠み淀むとがあるのを避けんがためであつた。小倉百人一首は定家が小倉山に閑居した時に撰んだものと云ふ。定家の歌は新奇な意匠と華麗な語句とを以て、當時の歌界にも一頭地を抜き、一新時期を劃したものであつた。然し一方にはそれが爲に、和歌はます〱細工物となり、形式的のものとなつてしまつた。

霜さそふ空に知られしか
りがねの
かへるつばさに春雨ぞ降る

家隆は定家と同じ時に出て盛名を齊しうする程であつたそして定家に比して上品な詠みぶりであつた。

昨日だに問はんとおもひ
し津の國の
いく田の森に秋は來にけり

勅撰和歌集は、かの三代集についで、院政の頃、後拾遺、金葉、詞花の三集が相ついで撰ばれた。後鳥羽天皇の御代に俊成が勅を奉じて千載集を撰上した。さらに土御門天皇の御代に定家や家隆等が後鳥羽上皇の院宣によつて、第八代の勅撰集たる新古今和歌集を撰上した。古今集から新古今集まで總稱して八代集といふそして新古今集は古今集以後で最も勝れた歌集と言はれ常に古今集と並稱せられた。

決戰議會の面目を發揮して

第八十四帝國議會閉會

【東京廿五日】第八十四帝國議會は一月二十日以來三月廿四日を以て一切の議事は終了したので本廿五日閉院式が擧行された、この間議會は決戰非常議會として政府提出案並に尨大な戰時豫算を無修正を以て然も短時日のうちに議決したことは何んと云つても一億國民の燃え上る決戰非常措置に應えんとするものであり、さらに今後決戰の熾烈化に伴ふ戰力增强にも一層の增産に邁進し、前線の將兵に與えんとする强力なる力となつて現れたのであるが、今期議會こそ官民一體の決戰議會と云ふべきであらう、本日の閉院式に當り東條首相は談話を以て重ねて敵米英擊滅の決意を披瀝したが、東條首相は今回の議會を通じて國民の協力はさらに强固なものとなつた、我々の決意は不退轉であるとの旨を表明すると共に、更に米英擊滅のため大東亞戰爭貫遂に一層努力し、以て米英勢力を全東亞より驅逐するものである、わが盟邦獨逸もまた攻勢に出んとしてゐる今日、東西相呼應して敵米英擊滅を期せんとするものであると述べた

個人擊墜五十九機

陸鷲勇士尾崎大尉

二階級昇進の御沙汰

【東東廿五日】今回二階級昇進の恩命に浴して尾崎大尉は昨年九月以來支那派遣軍航空隊中隊長として大陸に於る敵進攻基地を攻擊して敵の企圖を粉碎する等大陸の空に縱橫の活躍を續けて來たが、其個人擊墜は實に五十九機に及び然もそのうち十九機は大型であるといふ赫々たる戰果を擧げ尾崎大尉の威名は全軍に轟いてゐた、然るに昨年十二月廿九日の遂川爆擊行に勇躍參加し敵飛行場にさしかゝるや敵戰鬪機の邀擊をうけ僚機爆擊機を襲はんとした敵機を見事擊墜したが、惜くも敵彈は愛機に致命傷打擊を與へ最早救ふべくもなかつたが、再び僚機爆擊機に襲ひかゝらんとする敵機に對しあやふくこれを身を以て爆擊機護衞の任務を全ふし、敵機に壯烈な體當りを以て自爆を遂げ僚機を救つたのである、この精神こそわが航空精神であり全軍の範となつたのである、この輝く威勳は長くも今回上聞に達し二階級昇進の御沙汰あらせられた旨陸軍省廿五日午後二時發表によつて明らかにされた陸軍航空隊の二階級昇進の恩命に浴したのは今回で三回目である、即ち空の軍神加藤少將をはじめとし、昨年九月十二日光榮に浴した横山大尉、次いで今回の尾崎大尉である

支那派遣軍

の週間戰況

【支那前線基地廿五日】支那派遣軍當局では一週間の戰況を次の如く發表した

陸軍航空部隊は十八日未明敵航空反攻基地たる衡陽を四回に亘り反復爆擊を敢行、飛行場滑走路其他軍事施設の二ケ所を炎上うち一ケ所より大爆發を起さしめ全機無事歸還した、またわが軍は廣東省に蠢動を續けてゐる共產軍並に重慶軍掃滅戰を開始したが、現在までに判明した戰果は捕虜三百の他銃器彈藥を鹵獲する戰果を擧げた

日會本年度

役員會構成

在亞日本人會は去る十九日定時總會を開催し席上一九四四年度役員選擧を施行したが、爾來栗林選擧委員長は役員並に會計監査當選者の戶別訪問を行ひこれが就任方交渉中のところ、役員當選者中より片山良平、安東定夫、飯野榮作、大村秀二、秋葉新一の五氏の辭任者あり、仍つて次點者に次々と就任方交渉の結果總會以來一週間目の昨廿五日本年度役員會は左の諸氏を以て成立した旨日會當局から發表あつた

鈴木駿一郎　齋藤彥藏
佐藤謙一　服部定雄
宇野悟郎　佐々木耕一
大城正雄　興村禎吉
瀧波文夫　新宅隆一
石川倉次郎　森田擇一
山元潔　木村政太郎

▲役員補缺　本多武之輔
星吉平　入江正治
東江新一　郡十太郎

新會計監査左の如し
飯野榮作　高市茂

なほ來る四月一日午後七時より日會館において第一回役員會を開催、その席上幹部互選、各部署決定、各部提案等を行ひ終つて新舊役員の事務引繼をなし、一同懇親會を催して散會することになつてゐる

時報◇片々

◆政府は閣議決定に基き廿四日附發令を以て物資統制上の諮問機關「物資統制委員會」を創設することに決定、その委員會總裁には陸軍部內における斯の道の權威者と目されるフーリオ・チェッチー大佐が任命される豫定であり、近日中に關係各方面から理事任命を俟つて活動を開始する段取りになつてゐるが、政府は今回の右委員會設置により現下必需物資の不足によつて生ずる社會的、經濟的の凡ゆる不安を除去し、國防需要を基礎に物資需給の圓滑化を圖り苟しくも物資の買留め乃至隱匿、投機による市價の引上等統制を紊す奸商に對しては徹底的彈壓の手を下し、以て現在及び將來における國家經濟の發展に資することゝなつた　なほ新設の物資統制委員會の理事は各省の物資、交通運輸關係部局はじめ勞働厚生、大學經濟科、ナシオン銀行、それに民間側では株式取引所、武市交通會社その他から任命されることになつてゐる

◆缺員の亞國教育局監察官（教育局長）後任には現文部次官ホセ・イグナシオ・オルメド氏を榮轉せしめることに決定、この旨廿四日附を以て發令された

代理業
Representaciones y Comisiones
S. FUJII
藤井精四郎
Calle Santa Rosa 47 - U. T. 98095
Córdoba

奬學會發表

陸軍省は憲兵士官養成所開設を發表しました

◈官費
◈入學と同時に每月五拾磅支給さる
◈修業年限二ケ年
◈卒業と同時にアウキシリアル（少尉相當官）となり月額四百拾七磅を支給さる
◈憲兵監察官（大佐相當官）まで昇進の道あり
◈受檢資格
中等學校卒業
二十歲より二十三歲まで
獨身　アルヘンティーノ
身長一米六八以上
◈締切四月十日

右志願者は當會において手續其他に關し御相談に應じます

キンテーロ入用

日本人キンテーロ夫婦者を求む、場所郊外チーグレ、住込み待遇良し、高給支拂ふ、委細は左記へ問合せられ度し

アレナーレス街二一一一
電話　四四－六二九二

◆過般ユーピー通信社支社に對する業務停止命令あつた際郵政當局から注意を與へられてゐた米系オール・アメリカ電信會社は、本月八日附ペルー國リーマ市ユーピー支社發の反亞的報道を受信した事實が發覺、廿四日附郵政局發令を以て一千磅の罰金と廿五日午前零時より向ふ廿四時間の營業停止に處せられた、一方ユーピー當地支社のために私有無電台を使用せしめたパナグラ空輸會社も一千磅の罰金を喰つた

◆大藏省發表によれば本年度二ケ月間の貿易狀況は輸出入額合計五億三千七百六十七萬七千磅で昨年同期に比し一億三千百十一萬五千磅即ち三二・二%の增加であり、このうち輸入額は一億三千三十一萬一千磅、輸出額は四億四百三十六萬五千磅で結局二億七千百五十萬四千磅の出超を示してゐる

◆出武中の平良平三氏はコルドバ向け昨日退武

組合情報

ブエノスアイレス花卉産業組合報告

【284】

三月廿三日

▲購買部案（內單位醆）

◎材木

溫室用材木ラパーチョ（上等）を取次販賣致します故、希望者は本組合購賣部に御申込み下さい。

二吋×一吋半角（一本の値）

長さ三・四〇米	二、五〇
三・五〇	二、六〇
三・六〇	二、七〇
三・七〇	二、九〇
三・八〇	三、〇〇
三・九〇	三、一〇
四・〇〇	三、二〇

二吋×二吋角（一本）

長さ三・四〇米	三、三〇
三・五〇	三、四〇
三・六〇	三、五〇
三・七〇	三、六〇
三・八〇	三、八〇
三・九〇	三、九〇
四・〇〇	四・〇〇

二吋×一吋半角（一本）

長さ一・五三米	一、二〇

三吋×一吋半（一本）

長さ一・五三米	一、八〇

二吋×三吋

一米につき	一、四五

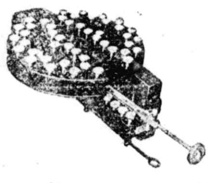
◎其他

針金（十八、十九、二十番）

瓩	四、〇〇
二十四番	四、二〇
二十五番	四、四〇
二十六番	四、六〇
カレー粉　瓩	一、三〇
小豆　瓩	一、四〇
ソース　一瓶	〇、八五

Biarritz
SASTRERIA FINA
仕立入念、服地上等、格安
店主自身應對致します
コリエンテス街四一一一
電話 三一－三五〇三

KEROFIX
Talleres: CHARCAS 4511
Unión Telefónica 71 - 9998
獨逸人の店
經濟的な本品をお勧め致します
製作、販賣、修繕、取付、交換引受致します
當方はカーサ・ボルカン[illegible]逸人で日本人間に數多の顧客を有し仕事は入念、迅速



廣告
各種中等學校、専門職業學校、大學修業者へ學資の補助並に教科書參考書の貸與を致します
希望者は左記へ
社團法人 奬學會
デフエンサ街 五一〇
電話 三四－二八二六

OBSTETRICA
ELISA YAMAUCHI
Diplomada en la Facultad de
Ciencias Médicas de Buenos Aires
U. T. 26 Garay 3778
—當分の間往診のみ御引受致します—
ブエノス・アイレス醫科大學産科卒業
公認助産婦
山内エリサ
電話（26）ガライ 3778

だるま饅頭
其他かまぼこ、すし等を特に念入ておいしく調製致します
◬毎土、日曜兩日御用命次第配達します
◬法要、出生祝、其他催事の仕出しに應じます
だるま亭
ポリーバル街一五五六
電話 二三－四〇九二

山本實雄
市內エントレ・リオス九七三番地（二階）
電話 二三－〇五四二

開業廣告
今回左記にクエジョ工場を開き染洗業者各位の御用命に應ずることになりましたから何卒御引立を願ひます
仕事入念大勉強、電話で御一報次第毎日集配に參上致します
クエジョ工場
フンカル街 二四三一
電話 四一－五一七九

日本食料品
榮養に富み、上品な味、純日本人向新荷着!!
□鯛みじん
□ミリン干
□干海老
○ビハの罐詰、其他新鮮美味な小魚類の干物
◈醬油及び味噌の大量釀造販賣を致します
西坂商店
アウストラリア街一一〇一
電話 二一－二九一五

冨士花園
冠婚祭葬用の花
藝術的調製
鉢物の御注文に應ず
アベニーダ・キルノ・コスタ街一八七七
電話 六三－〇九三五

CINE
Astoria
Suipacha 482 U. T. 35-0156
獨逸映画上映
ウーファ社提供目下上映中
▲入場料 二磅
▲毎日十二時半より二十四時まで連續映寫

Medicinal News
28 - Suipacha - 28
◈淋病梅毒
治療代は全治後頂きます
◈肺結核新療法
◈婦人科
◈電氣治療科
◈X光線科
—各科專門醫十名—
診察料 三ペソ
時間（午前九時－十二時 午後三時－八時）
◈日曜祭日は午前中
◈血液、尿、喀痰の檢査は武市大學教授ミツフオ博士が擔當して居ります

日本座敷
文化住宅 建築
大工指物師 山本玄
市內ビージャ・マルテレ區スフラテギ四三一
電話七四－（フロリダ）三一五〇

日本人は日本品を
萬年筆は
日本製「パイロット」

▼領事館
▼銀行
▼船會社
……に近く
御乗船御下船の便よし……
◎地方より出武の節は是非御立寄願ひます
御下宿御旅館
昭和館
ベンテシンコ・デ・マーヨ街三三〇
電話 三一－五一四五

◈邦人間唯一染色の工場
◈設備完全仕事入念
齋藤染色工場
アベヤジネダ市ラカラア街一四一七
電話 二二－七七一五

Dr. ERNESTO T. FRERS
Enfermedades de Garganta, Nariz y Oídos
Jefe de la especialidad en el Hospital Alemán
耳鼻咽喉科專門
獨逸病院耳鼻科々長
ドクトル フレルス
診察時間 午後二時より五時迄（土曜日を除く）
スイパチャ街六七〇
電話三五－一三二〇

Dr. Franz Robbers
Jefe de Clínica
Médica del Hospital
Alemán
CHARCAS 929
2.o piso
U. T. (31) 9792
獨逸病院內科部長
ドクトル ローベルス
▲診察時間 午後三時より五時まで（土曜日を除く）
チャルカス街二九二一（二階）

鯛みじん
上品な味、榮養に富み、高尚な加工品として知られ殊に子供の食膳に喜ばれます
◈其他小魚類の煮干、ミリン干、干蝦等
◈銀産組合花卉組合及び西坂商店にありますから御求め下さい
マル・デル・プラタ市
梶原

ラ・ムスメ
Suipacha359 U.T.35-2565
万年筆
パイロット 十五磅以上
パーカー 四十五磅以上
學生用 三磅以上
日西大辭典
ファン・カルボ師著 二十五磅
御贈答用品
取揃て御座居ます

カフェ
薩摩
有水君子
久松純雄
竹ノ内武義
加藤吉隆
ヘネラル・オルノス街五四
電話 二三－〇五二六

Taller Mecanico
de G. GONZALEZ
ブランチャ機カルデラの修繕其他
San José 220 U. T. 38-5923

スリマ
デフエンサ街一七一七
電話（三三）四三八二
◎スモーキング 十三磅より廿七磅まで
◎サコ・コルト 九磅五十仙より二十四磅まで
◎パンタロン・ネグロ 十六磅五十仙
◎カミサ・ブランカ 七磅五〇十磅五十仙
◎地方よりの御注文はピヤロンガ便にて、代金引換で送ります

時計販賣並びに修繕
○裝身具各種取揃へて居ります
○電話で御一報次第參上致します
東京堂時計店
エントレ・リオ街五四一
電話 三八－五六一七

Gran Taller
de
S. MIYAZONO
RIVADAVIA 3519 U.T.62-2083
◬クのジョの御用命は弊店の專門●へ
◬仕上能率一日三千本
◬入念優美確實で迅速配達致します

◉便箋、封筒、名刺其他多少に不拘御用命願上ます
西和文活版印刷 ニッポン堂
サンチヤゴ・デル・エステロ街九七五
電話 二三－七八六四

MUDANZAS ALEMANA
信用第一
機械類・ピアノ・金庫其他凡ゆる荷物の運搬御用命下さい
パセオ・コロン街一一六三
電話（三三）二三七二

TRANSPORTES
GUARDA MUEBLES

日本人最古の洋服店
片山洋服店
ピエドラス街五七二
電話 三三－五四五二

診察時間 自午後三時 至同六時
ドクトル 佐藤謙一
カビルド街二六八八
電話七〇－七二六五

ERNESTO
COCO
15 de Noviembre 2335
U. T 23-2835
品質本位
仕立入念
—八十五磅より各種—
ケルセン廉賣
永年日本人洗濯店並ニ御家庭ノ貢贔ヲ蒙ツテ居リマス

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 34, Defensa 3361
トロー洋服店

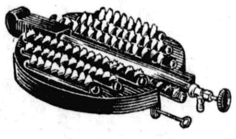
技術と設備を誇る
大染色工場
●日本人同業者各位に信用あり
ラ・プリマベーラ
デセアード街六六一
電話五九－三七一九

時局がら勞働者の傷害保險と窓ガラスの保險をつけられたし
鈴木驥一郎
市內ウスパリアタ街五七七
私宅 電話二六－四七三七

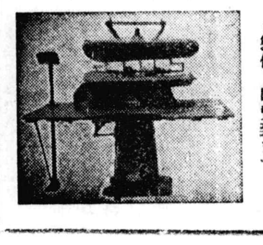
國分齒科醫院
カリヤオ街一二一九番五階
電話 四二－八〇一三

一般食料品
味噌醤油の釀造、素の類、罐詰、漬物一般大取扱致します
西阪商店
アウストラリア街一一〇一
電話 二一－二九一五

TALLER MECANICO
— de —
Angel RODRIGUEZ
PERÚ 710
U. T. 34-1192
Particular U. T. 34-8587
新型經濟的
カルデーラ
ケマドール
の製作販賣



FRANCISCO SANTERO
Ex mecánico de la Cía. Hoffman
CONSTITUCION 3229
U. T. 45 - 0294
フランシスコ
サンテーロ
ブランチャ機並びにセントリフーガ製作、販賣致します



豆腐 こんにやく 赤みその製造賣販
日本茶、わかめ、こんぶ其他日本食料品種々有り
下門正一
レイパ街 四〇二九
電話 五四－七八一二

SAUL LEIT
ブランチャ機用
アコルチャド一個 參磅五拾仙
フンダ一個 壹磅五拾仙
▲地方よりの御注文は送料申受けます
ヘネラル、イ、ガルソン街三六一六
電話 六九（ナスカ）一四四四